

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名	
取組の名称	伊勢志摩サミット給食(特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校)
取組内容	伊勢志摩サミットの開催に伴い、サミット参加国ならではのメニューが『サミット給食』として提供されました。海外の国について興味関心がより深まるように、その国の食事や言葉について、写真をみたり話を聞いたりする機会としました。 〈目標〉 ・食べているメニューがどこの国のメニューなのか、意識して食べよう。 ・「ごちそうさま」をその国の言葉で言ってみよう。 〈対象〉 小学部～高等部の児童生徒28人 〈実施場所、時間〉 ランチルーム、給食中5分程度 ●6月1日(水) ドイツの日 メニュー ジャーマンポテト、ボイルウィンナー、サワークラウト、パン、牛乳  ・ジャーマンポテトの「ジャーマン」とはドイツを意味しています。 ・ごちそうさまという言葉はありませんが、美味しかったという意味で「はとぐとげしゅめくと」と言います。 ●6月3日(金) イタリアの日 メニュー ミラノ風カツレツ、ミネストローネ、マチェドニア、フォカッチャ、牛乳  ・ミネストローネはイタリア発祥の野菜スープのことです。イタリアはトマト作りが盛んなので、トマト入りが多いです。 ・ごちそうさまという言葉はありませんが、美味しかったという意味で「えすたーと もるとぼおーの」と言います。

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	三 重 県
取組市町村名	木曽岬町
取組の名称	保健衛生委員会活動 「残飯ゼロ&早片付け選手権」の取り組み (木曽岬町立 木曽岬中学校)
取組内容	前期保健衛生委員会の活動の一環として、「残飯ゼロ&早片付け選手権」を実施しています。 この取組は、給食の残食を減らし、給食の片付けのマナー向上をねらいとして実施しています。この取組の期間中、保健衛生委員の生徒が①残食の状況②給食ワゴンの片付けの状態を確認して集計しています。 ①の取組で、「給食を残さずに食べる」という意識が生徒に芽生えてきていました。結果として、この取組を実施すると、取組以前と比べてはるかに残食が減少します。 また、②の取組は、「食べ終わった食器や食缶を片付けてくださる人のことを考えて、早く丁寧に片付けよう」というものです。 保健衛生委員会では、普段から給食後のワゴンの片付けチェックを行っています。しかし、早く丁寧に食器・食缶などを戻すことが出来ていない現状があります。 この取組の期間にはワゴンが普段より早く配膳室まで戻るようになり、その結果、給食を片付けてくださる用務員さんに、余裕を持って、食器・食缶の片づけがしてもらえるようになりました。日々当たり前のように食べている給食に関心を持ち、感謝の気持ちを持って食事をする姿が見られました。
	   

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	三 重 県
取組市町村名	東員町
取組の名称	社会見学 東員町給食センター(東員町立笹尾東小学校)
取組内容	3年生児童 31名 社会見学で、給食センターを訪問し、学校給食に携わる人たちの仕事の様子を見学したり、事前に考えた質問に答えていただく中で、毎日食べている給食について学習しました。約3000人分の給食を調理員さん16名で作ってくれていることや、調理器具の大きさなどにとっても驚いていました。事前に考えた30ほどの質問にひとつひとつ丁寧に答えていただき、なぜ多くの給食をお昼までに各学校に届けられるのか、この仕事のやりがい、献立の決め方、人気のメニューなどを教えていただきました。 今回の社会見学で学んだことは、一人一人が新聞にまとめ、完成したものを見せ合いそこで初めて気がついたことをメッセージカードとして相手に渡す取り組みをしました。     <児童の感想> きゅう食を作ってくれる人が、ちょっと時間がたったら手をあらってくれて、あついと思うのに、2じゅうのぼうしをかぶって、かみの毛が落ちないようにしてくれているから、のこさず気持ちをこめて食べたいです。 作ったものは、きゅうしょくの先生に味見をしてもらっておいしいか、そして、けんこうな味か食べてもらっているから、とてもおいしく食べられるんです。 いままでにちょっとのこしたことがあったから、のこさないようにたべようと思いました。きゅうしょくセンターの先生の話を書いて、きゅうしょくの時間がたのしみになりました。

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	三 重 県
取組市町村名	亀山市
取組の名称	地場産物を活かした授業等の実施（亀山市立亀山西小学校）
取組内容	①（１）対象者：１年生保護者 93人（２）１年生児童とその保護者 186人 講師：栄養教諭 実施日：6月14日（火） （１）学校給食についての理解を深めるために、学校給食の栄養管理や献立作成、衛生管理等、給食管理について様々な内容を講話しました。また、給食は「生きた教材」であることや、１年生で行った「給食室探検」や「実えんどうむき」など、食に関する指導の実践も伝えました。「食」は「生きる力」であり、学校、家庭、地域の連携が必須です。家庭での食育の取り組み例を紹介しながら、食に関する指導の協力と理解の継続を依頼しました。 （２）１年生と保護者とで給食を共食し、給食の準備から喫食、後片付けまで子どもたちの様子を見てもらいました。食前食後の挨拶や、食器の置き方等の食事の作法やマナーを見てもらう事で、家庭でもなされているか再確認してもらう機会となりました。また、友だちと楽しく食べ、嫌いな物でも声を掛けながら食べる様子を見てもらい、学校給食ならではの良さを感じてもらいました。 子どもたちは、おうちの人と給食を食べる事をとても楽しみにしており、普段食べ残しが多い子や、食べるのに時間がかかる子も、おうちの人と食べる事で、食べ残しもほぼゼロで時間内に食べるなど、共食の良さを改めて実感させられた行事となりました。 ② 対象者：3年生児童 73人（3クラス） 授業者：学級担任、栄養教諭 実施日：6月27日（月）1限目、2限目、3限目 亀山市の地場産物の1つであるお茶は、三重県でも3位もしくは4位の収穫高であり、「亀山茶」の名前で知られています。本校3年生は総合学習で様々な種類のお茶について学んでおり、緑茶である亀山茶についても学習を進めていました。また、学校給食でも地産地消の取り組みから亀山茶を使った料理を多く取り入れ、子どもたちに地場産物を知らせています。 そのようなことから、煎茶の亀山茶を見る、香りをかぐ、手触りを感じる、味わってみるなどの五感を使って体験し、緑茶のすばらしい効用を知るという学習をしました。子どもたちは、普段緑茶にあまり親しんでおらず、五感を感じる学習の中で、「味わう」に取り組む前は、少し抵抗があったようですが、『お茶のおいしい味が広がってきた』『パリパリして、最初は甘い味がして、後から苦くなってきた』など、一人ひとりが感じた事を自分の言葉で表現しました。 また、緑茶の効用として、「心を落ち着かせる」「体の疲れをとる」「風邪を予防する」「虫歯を予防する」「眠気を覚ます」事を伝えました。また、「体の調子を整える」事も伝え、学校給食では、「みどりの仲間」に該当し、野菜と同じ様な効用があることも指導しました。子どもたちは、自分たちが口にしたお茶が体の中でどのような効用があるのか体験しながら学習する事ができ、緑茶に対して親しみを持ってくれたようでした。 使用したお茶は「煎茶のおいしい飲み方」の説明用紙とともに各自家庭に持ち帰り、家庭でもお茶を楽しんでもらい、亀山茶に興味を持ってもらえたようでした。

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	三 重 県
取組市町村	鈴鹿市
取組の名称	地域とともにアグリにチャレンジ～農業体験学習～（鈴鹿市立国府小学校）
取組内容	(1)畑作(さつまいも・じゃがいも) 対象者:低中学年 参加学年:1～4年生(260名程) 授業者:低中学年担任, 地域のボランティアさん 実施日:6月上旬(各学年による) さつまいも・じゃがいもの栽培に関心を持って, 収穫・調理すること, さつまいも・じゃがいもの栽培でお世話になった地域の方に感謝の気持ちをもつことをねらいとして, 低中学年が活動に取り組みました。じゃがいもは収穫を終え, 「じゃがもち」を調理しました。  (2)スイカの授粉体験, 試食 対象者:5年生 参加学年:5年生(55名) 授業者:5年生担任, 地域のボランティアさん 実施日:6月10日(受粉体験), 7月8日(試食) 理科の勉強で学習する「花から実へ」の単元に関連させて, 授粉体験を行いました。「おしべ」と「めしべ」の見分け方を教えてもらったり, 実際に受粉をさせてもらったりしました。また, 自分たちが授粉させて作ったスイカを食べる機会も作って頂きました。  (3)その他 対象者:全学年 授業者:栄養教諭, 各担任 全学年, 栄養教諭による食育指導を行いました。また, 5月18日ではあるが, 5年生に稲作の農業体験を行いました。稲作は, 地域の方から「畑作だけでなく, 稲作も体験させてあげたらどうか。」というお話があり, 27年度から米作り体験学習を行っています。9月13日には稲刈りを行い, 地域の農芸祭の会場で収穫したもち米の販売もします。 